

Day One Competences

1. 獣医療、動物福祉、クライアント、公衆衛生、社会、および環境などに関連した職務に対して、獣医師の倫理的ならびに法的責任を基に行動できる。
2. 科学的な研究手法、基礎研究および応用研究の科学への寄与、ならびに 3R（代替: Replacement, 削減: Reduction, 洗練: Refinement）の原則の実践法を理解している。
3. 獣医事に関連した組織、管理、および法律についての基礎知識を習得している。獣医事で起こりうる経済的および感情的背景を理解している。
4. 獣医師の職場での健康管理と安全管理に関する知識と方法論を習得している。質保証の原則を理解し、獣医療現場においてリスク管理を実施できる。
5. 機密性とプライバシーを念頭において、状況に応じた適切な言葉使いでコミュニケーションが取れる。
6. コミュニケーション能力、統率力、管理力、協働力、相互尊重などの能力（ソフトスキル）を使い、効果的に対人関係を構築できる。
7. クライアント情報を含む正確な診療記録を作成でき、必要に応じて適確な症例報告書を作成できる。
8. 多様な専門職チームの一員として、全構成員の役割を理解し、効果的に業務を遂行できる。
9. 文献やプレゼンテーションを批判的にレビューし評価できる。
10. One Health の原則を理解し、臨床試験や科学的根拠に基づいた獣医療に応用できる。
11. エビデンスを批判的に検証し、不完全な情報を処理し、不測の事態に対応し、様々な場面や状況に知識と技術を適応させる能力を持っている。
12. 動物と人と環境の健康、安全、福祉、更には世界的視野での SDGs の増進を図るために、専門的な能力を活用し、獣医学と One Health を推進できる。
13. 自身の個人的および専門的能力の限界を理解し、必要な場合に専門的な助言や支援を受ける方法を知っている。
14. 職務経験の記録と振り返り、さらには技能と能力を向上させる工夫を実践し、生涯学習と専門能力の向上に取り組むことができる。
15. 技能を向上させるために、定期的な自己評価やグループ評価の実施に取り組むことができる。
16. 個々の動物あるいは動物群の正確な病歴や関連事項、さらには動物の管理状況を把握できる。
17. 動物への尊重と安全性に配慮した対象動物の取扱いおよび保定ができ、補助者に対して適切な指示を出せる。
18. 十分な臨床検査を実施し、診断・治療方針を決定することができる。
19. 利用可能なリソース、公衆衛生、および環境に配慮した適切な治療計画を立て実施できる。
20. 一般的な動物種について、救急時の応急処置を実施できる。緊急性に応じて優先順位を付

け、それに応じて人員と資材を適切に配置できる。

21. 個々の動物または動物群について、健康状態、動物福祉、および栄養状態を評価し、クライアントに飼育、飼養や繁殖の管理、動物福祉、個体や個体群の健康、および公衆衛生の基本を指導できる。
22. 検体の適切な採取・保存・輸送・検査の選択ができ、検査の限界を理解して結果を解釈できる。
23. 紹介先や診断を請け負う機関へ適切に情報を提供し、協働できる。
24. 安全衛生基準および現行の規則を遵守し、基本的な診断機器を使用し、症例に応じて適切かつ効果的な検査を実施できる。また、獣医学におけるデジタルツールや人工知能（AI）の活用について理解できる。
25. 監視伝染病および人獣共通感染症や動物虐待など、届出や報告が必要な事例の兆候を認識し、関連当局への通知を含む適切な行動をとることができる。
26. 動物の飼養と福祉、動物の移動、届出および報告の必要な疾病、抗菌薬の適正使用を含む薬剤の使用に関する情報および法規制について、適切な情報源にアクセスし、調べることができる。
27. 薬剤を法令および最新のガイドラインに従って正確かつ責任を持って処方し、調剤することができる。
28. 薬剤の有害事象について、適切な経路で報告できる。
29. バイオセキュリティの手順を提案・評価し、正しく実践できる。
30. 無菌操作を適切に実行できる。
31. 鎮静、局所麻酔や全身麻酔による化学的保定を安全に実施できる。
32. 疼痛の予防、評価、および管理を実施できる。
33. 安楽死を考慮すべき状況を理解し、動物と所有者を尊重し、その場にいる人の安全に配慮しながら、適切な方法を用いて安楽死を実施できる。また、遺体について、倫理的かつ合法的な取り扱いを助言できる。
34. 一般的な動物種すべての剖検を実施でき、検体の採取と輸送、および剖検結果の報告ができる。
35. 産業動物について、動物福祉に配慮した生前検査を実施し、と畜後の体系的な検査を行い、観察事項を記録し、異常が認められた際には適切に組織を採取、保管、輸送することができる。
36. 関連する食品技術を含む動物由来製品の品質と安全性に与える影響を正確に評価するため、食品および飼料の検査を実施できる。
37. ヒトの健康に関わる動物、動物由来の製品、およびその副産物について、それらから派生する有害性を認識し、公衆衛生の向上に努めることができる。
38. 動物衛生、動物福祉、公衆衛生、および環境衛生基準に沿って、疾病と動物種に適した予防および根絶プログラムについて助言し、実践できる。